

# 金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/05/02号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



## 【ゴールドマーケットの現状】

### 中国都市ロックダウンによる影響

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



円建てゴールドの歴史的な高値更新はようやく先週ストップしました。それでも非常にボラの高い動きとなりました。最も目立った動きは米国株価の大きな下落です。NYダウは金曜日には一時1000ドル下げる場面があり、それがコモディティにも売りを呼ぶという展開になっています。株価の下げは、中国のZero Covid 政策による景気後退の恐れに加えて、FRBによる金利上げは今年（今週のFOMC）から少なくとも3ヶ月連続で0.5%、今年中に0%から2.5%まで金利が上昇するということから燎原の火のごとく売りが広がっています。S&P500は今年年初から4月末までの間に10%も下げています。これは特に産業用のメタルであるシルバーとPGMにはより大きな影響を及ぼしていますが、ゴールドも残念ながら売りが大きくなりました。安全資産としては現在はドルが圧倒的に買われています。それもゴールドにとってはマイナス要因。ドルインデックスは現在2,002年以来の高値となっており、さすがにゴールドも堅調ながらも売りが目立ち。若干の下げとなって一週間が終わりました。今週は日本のゴールデンウィークですが、FOMCがあり、またドル円も130円付近での大きなボラティリティとなっています。そのため特に円建てのゴールドは日本が休みの間も大きく動く可能性があります。これだけの株価の下げにも、FRBは市場の予想通りに金利引き上げを行うのでしょうか。株価の下げがさらに加速される可能性があります。そうなればゴールドは逆に「安全資産」としての資金の流入の可能性があります。恐怖指数VIXが大きく上昇しているこの状況は、最初はゴールドも「現金化」の動きにさらされますが、それが落ち着けば一番最初に買われるのはゴールドになると思います。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

## 【マーケット・トピック】

## ゴールド以外の貴金属-シルバー 4

## 「シルバーの鉱山生産（続き）」

シルバーの生産は、ゴールドと違ってシルバーがメイン（primary）の鉱山で生産される量は全体の4分の1に過ぎません。残りの4分の3は、ほかのメタルの副産物として生産されています。最大のものは鉛亜鉛で31.7%、そしてプライマリー（銀鉱山）26.7%、銅25.3%、ゴールド15.7%という内訳です。ゴールドは基本的に「金鉱山」から生産されます。その鉱山が金鉱山なのか、銀鉱山なのか、銅鉱山なのかは、その鉱山の収入をどのメタルが最も大きな部分を占めるかによって名前が決まります。ゴールドはその価値が高いがために、どうしても「金鉱山」になりがちなのです。ということでシルバーの場合は、シルバー以外の非鉄の鉱山の中に含まれる部分が多くなっています。

## 「鉱山生産コスト」

シルバーの生産コストはゴールドほど重要ではありません。というも、そのコストがはっきりできるのは銀鉱山（Primary）のコストだけであり、ほかの鉱石からの副産物ではシルバーのみのコストの計算はできません。銀鉱山の現在の生産コストは以下の表のとおりです。2020年のAIS（すべての要素を含んだ生産コスト）は11.17ドルと、2022年4月末1日現在のシルバー価格22.80ドルですから、そのコストは半分以下であり、シルバー鉱山会社は大きな利益を得ていると考えることができます。

## 「埋蔵量」

シルバーの埋蔵量（銀鉱山での確認された経済的に採算の合うシルバーの量）は増加傾向にあります。2019年は105,596トンでしたが、新しい鉱山・鉱脈開発で15,000トン増加、生産で減少した分が7800トンで、差し引き約7200トンほど埋蔵量は増えて、2020年は112,864トンが確認されています。現在確認されている資源量は226,551トンであり、その約半分が経済的に掘削可能ということになります。埋蔵量は新たな鉱脈の発見、鉱山掘削技術の進歩そしてシルバー相場の動きによって増減します。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

### 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで

